

第4章 瀬戸内市の歴史文化資源の保存と活用に関する 将来像・基本的な方向性

1. めざす将来像

本市には多数の歴史文化資源が存在しますが、昨今の人口減少などの影響から保存・継承が困難になっているものが多数あります。

地域で大切に受け継がれてきた歴史文化資源は、市民にとって心の拠り所となるものであり、これらを有効に保存・活用していくことで地域の個性となり、シビックプライドの醸成にもつながります。さらには、観光にも活かすことで、地域の活力向上にもつながります。

このような歴史文化資源を後世に伝えていくためには、市民に地元の歴史文化資源について知ってもらい、様々な取り組みに活かしていくことが重要となります。

このため本市では、市の総合計画の将来像である「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」のもと、歴史文化資源の保存・活用に関する将来像を、「海・土・山の自然に育まれた歴史文化が残る個性あるまち」、「歴史文化を市民が学び、誇り、伝えるまち」、「歴史文化に親しみ深く知り、歴史文化を活かす人が集う魅力あるまち」と設定します。

2. 将来像実現のための基本的な方向性

将来像実現のため、歴史文化資源の保存・活用の方向性を、本市では「歴史文化資源を知る」、「歴史文化資源を守る」、「歴史文化資源を活かす」、「歴史文化資源をつなぐ」の4要素に分け、下記図のように基本方針を定めました。

めざす将来像

海・土・山の自然に育まれた歴史文化が残る個性あるまち
歴史文化を市民が学び、誇り、伝えるまち
歴史文化に親しみ深く知り、歴史文化を活かす人が集う魅力

方向性① 「歴史文化資源を知る」

基本方針 1-1 歴史文化資源の悉皆的・総合的調査を実施し、その記録を行います。
基本方針 1-2 歴史文化資源の魅力を市内外に公開します。

方向性② 「歴史文化資源を守る」

基本方針 2-1 歴史文化資源の保存・管理に取り組みます。
基本方針 2-2 歴史文化資源の防犯、防災対策に取り組みます。
基本方針 2-3 個別の保存活用計画の策定を進めます。

方向性③ 「歴史文化資源を活かす」

基本方針 3-1 歴史文化資源を教育に活かす人材や団体の育成を進めます。
基本方針 3-2 歴史文化資源を観光に活かすよう整備やコンテンツの開発を行います。
基本方針 3-3 歴史文化資源をまちづくりに活かす拠点の整備と支援を行います。

方向性④ 「歴史文化資源をつなぐ」

基本方針 4-1 歴史文化資源の所有者や担い手、各団体間での連携に向けたネットワークづくりを行います。
基本方針 4-2 歴史文化資源の地域団体での担い手育成の支援をします。
基本方針 4-3 市内外での調査・研究体制及び市内連携体制の充実に努めます。

図 27 歴史文化資源の保存・活用に向けた方向性の体系